

モビリティ IoT

■ モビリティ IoT 事業の取り組み

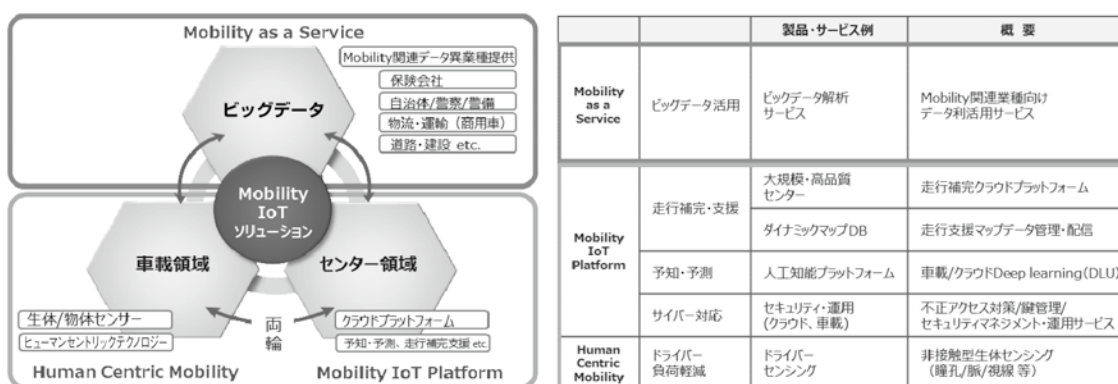
モビリティの世界は、コネクテッドカーが2020年に2億5千万台規模に増加するなど、ここ数年で大きな変革が訪れます。これを契機に富士通は、交通事故の低減・渋滞緩和・CO₂排出削減などの解決と社会生活の改善に向けて、モビリティプラットフォームや各種サービスを提供し、自動車・関係業界の共創の場を提供します。

コンセプト：Mobility as a Service (MaaS) + Mobility IoT Platform

自動車を中心としたあらゆる移動手段を取り巻くビジネスの変革・自動化に向けて、富士通はIoTからクラウドまで高機能・高性能な統合プラットフォームを提供することにより、Mobility分野のグローバルサービスを目指します。

コンセプト：Human Centric Mobility

「ヒト」中心の高度なセンサー・AI技術などにより、様々な人の移動シーンを安全・安心・快適にサポートします。



共創サービス

富士通は、スマートデバイス、IoT、ビッグデータなどの先進的なICT活用を始めとした、お客様の新たな事業やサービスの創出を支援する共創サービスを2016年5月に体系化しました。本サービス体系は、富士通のインテグレーションコンセプト「FUJITSU Knowledge Integration」を具現化するものです。これまでに実施してきたサービスインテグレーションやハッカソン、アジャイル開発などの豊富な実績を活かし、ハッカソン、デザイン思考などのアイデア創出を支援する共創プログラムやリーンスタートアップ実践プログラム、およびクラウドソーシングサービスを通じて、新しい事業アイデアの実装も含めた一連のプロセスを富士通SEを通じてワンストップで提供します。

また、富士通ソリューションスクエア（東京都大田区）内に、富士通SEとお客様とのハッカソン、アイデアソン、ワークショップなどを実践する共創の場、「FUJITSU Knowledge Integration Base PLY（プライ）」を2016年5月に開設しました。

